

寒さも和らぎ、温かい季節がやってきました。
さて、『癒し』という言葉もすっかり定着した感の今の時代、その代表はやはり自然のグリーン、植物ではないでしょうか？
ただいきなり本格的なガーデニングとなると道具や手入れも少し大変です。
そこで今回は、季節を問わず室内でガーデニング感覚が楽しめる植物の選び方をお伝えします。



植物を育てる前に知っておきたいこと

室内で楽しむグリーンとしては、やはり観葉植物の中から選ぶのがおすすめです。もともと室内に置いて葉の形や色、姿などを観賞するように開発されたものなので、面倒な世話も少なく、病気や害虫が発生しにくいという特徴があります。

場所に合ったグリーン選び

リビング

家族が集まるリビングには、存在感のある大きな植物が似合います。ほとんどの観葉植物は室内で育ちますが、室内の環境に合わせて、日陰や乾燥に強いものを選びましょう。鉢もインテリアとしてリビングのテイストに合わせて選ぶようにしましょう。日当たりの良い出窓は植物を育てるには最適な環境です。数種類の植物を寄せ植えにした鉢などを置いて、坪庭感覚のアレンジも楽しそう。種類としては、ポトスやアイビー、テーブルヤシなどが一般的ですが、最近は「和ブーム」もあって、洋室でもミニ盆栽も人気です。初心者でも育てやすいのは、丈夫なモミジ、カエデ、松など。カジュアルに楽しむなら山野草が人気です。



キッチン

キッチンやテーブル周りには水栽培がおすすめです。入れ物も水も清潔に保てる為虫や菌が付きにくく、成長も楽しめます。ハーブ類は強いので、コップに挿しておくだけで根が出て葉が増えます。日陰で育つスプラウド（新芽野菜）もキッチン向き。健康野菜としても注目され、種や栽培キットが市販されていますので手軽に始められます。残り野菜もあなどれません。人参や大根など根菜類のヘタの部分、豆苗は切り落とした根っこの部分を水につけておくだけで育ち、再び料理に使うこともできます。観賞するならサツマイモ。つる草のようにぐんぐん伸びて、上手くいけば花を咲かせることもあります。の種など、種ものもユニークで楽しいものです。



バスルーム

バスルームにグリーンを置けば、癒しの効果アップになります。湿気に強く、日陰でも育つシダ、ツタ、ヤシ類が浴室向きで、アジアタイムアイビー、ドラセナなどが人気。土を使わないハイドロカルチャーが衛生的でおすすめですが、もし土を使う場合は、表面を水のりや玉砂利で覆うといいでしょう。ガラスの鉢は避けて、ペットボトルやプラスチック鉢で安全に楽しみましょう。植物を置ける場所がない時は、タオルハンガーなどにペットボトルで作った鉢を吊るして、アイビーやポトスを挿しておくだけでも、雰囲気が出ます。



TOYAスマイル倶楽部事務局

今治市玉川町中村甲677-7

有限会社十弥工務店内

TEL (0898)36-8182 FAX (0898)36-8183

E-mail : toya-info@toya.co.jp

URL : <http://www.toya.co.jp>